

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第24期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社サンマルクホールディングス
【英訳名】	Saint Marc Holdings Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片山 直之
【本店の所在の場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 網嶋 耕二
【最寄りの連絡場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 網嶋 耕二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第2四半期 連結累計期間	第24期 第2四半期 連結累計期間	第23期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	26,540,510	29,690,902	54,347,778
経常利益 (千円)	3,374,763	3,790,146	7,102,317
四半期(当期)純利益 (千円)	1,784,124	2,191,481	3,831,862
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,775,967	2,202,052	3,814,154
純資産額 (千円)	35,874,608	37,881,549	36,292,039
総資産額 (千円)	44,073,406	47,308,769	46,795,886
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	157.54	197.29	340.53
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	81.4	80.1	77.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,968,344	3,951,382	7,981,733
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,928,031	3,977,221	5,718,996
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	887,121	816,210	2,757,624
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	10,997,571	9,522,786	10,357,003

回次	第23期 第2四半期 連結会計期間	第24期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	88.63	112.60

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や企業業績の回復がみられ、景気回復基調にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動からの消費回復の動きが鈍いことや新興国経済の低迷による輸出の伸び悩み等により、景気の先行きは不透明感が高まりつつ推移いたしました。

外食業界におきましては、実質所得の低下等の影響により再び節約志向が強まり、個人消費が本格回復に至っていないことや円安進行に伴う原材料価格の上昇リスク、雇用環境改善に伴う人件費増加懸念など、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、全社的な研修制度の継続実施により店舗サービスレベルのさらなる向上とメニュー内容充実等により顧客満足度向上に地道に取り組むとともに、好立地への積極出店を計画的に推進し、既存業態から派生した新業態の実験・開発に継続して注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店1店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営店6店舗、BISTRO309直営店1店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店10店舗、宝田水産直営店1店舗、石焼炒飯店直営店2店舗、サンマルクカフェ直営店15店舗、実験中の神戸元町ドリア直営店2店舗及び倉式珈琲店直営店5店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店43店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店695店舗、フランチャイズ店83店舗、合計778店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高296億90百万円（前年同期比11.9%増）、経常利益37億90百万円（同12.3%増）、四半期純利益21億91百万円（同22.8%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は156億72百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は22億81百万円（同9.9%増）となりました。

ファーストフード事業売上高は124億84百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は20億3百万円（同15.2%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は473億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億12百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は126億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億20百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が8億34百万円減少したこと及び売掛金が3億94百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は346億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億33百万円の増加となりました。これは主に事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が10億2百万円及び敷金及び保証金が3億3百万円それぞれ増加したこと、非連結子会社への貸付及び増資等により、投資その他の資産のその他が3億49百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は68億57百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億74百万円の減少となりました。これは主に買掛金が2億45百万円減少したこと及び未払金が9億16百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は25億70百万円となり前連結会計年度末と比較して2百万円の減少となりました。これは主にリース債務が1億23百万円減少した一方、直営店出店に伴う資産除去債務が1億13百万円増加したこと及び退職給付に係る負債が9百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して15億89百万円増加し、378億81百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.1%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益36億24百万円の確保等により、前連結会計年度末と比較して8億34百万円減少し、95億22百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は39億51百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して16百万円の減少（前年同期比0.4%減）となりました。

この主なものは、税金等調整前四半期純利益36億24百万円の獲得、減価償却費14億50百万円の発生及び法人税等の支払が17億17百万円発生したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は39億77百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して10億49百万円の増加（同35.8%増）となりました。

この主なものは、事業拡充のための有形固定資産の取得による支出32億67百万円、敷金及び保証金を含むその他投資取得による支出3億50百万円、中国における業態実験のための非連結子会社への貸付けによる支出1億90百万円、アメリカ及びシンガポールにおける業態実験のための非連結子会社への増資に伴う投資有価証券の取得による支出93百万円を行ったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は8億16百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して70百万円の減少（同8.0%減）となりました。

この主なものは、配当金の支払6億9百万円の資金支出を行ったこと及びファイナンス・リース債務の返済による支出が2億5百万円発生したこと等によるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	11,388,685	11,388,685	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	11,388,685	11,388,685	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年7月1日 ~ 平成26年9月30日	-	11,388,685	-	1,731,177	-	14,355,565

## (6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
片山 直之	岡山市南区	2,842	24.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番11号	955	8.39
株式会社クレオ	岡山市南区東畦110番地の29	515	4.53
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	459	4.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	426	3.75
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	305	2.68
資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ棟	299	2.63
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	ONE LINCOLN STREET, BOSTON MA USA 02111 (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	293	2.57
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島4丁目16番13号)	270	2.37
株式会社中国銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	岡山市北区丸の内1丁目15番20号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ棟)	242	2.13
計	-	6,610	58.05

- (注) 1. 当第2四半期会計期間末日現在における信託銀行の信託業務の株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。
2. 上記のほか、自己株式が280千株あります。
3. エフエムアール エルエルシー (FMR LLC) から、平成26年4月7日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成26年3月31日現在で以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
エフエムアール エルエルシー (FMR LLC)	245 SUMMER STREET, BOSTON, MASSACHUSETTS 02210, U.S.A.	584,000	5.13

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 280,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,044,700	110,447	-
単元未満株式	普通株式 63,185	-	-
発行済株式総数	11,388,685	-	-
総株主の議決権	-	110,447	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株及び株主名簿上当社子会社である旧株式会社サンマルク(現株式会社サンマルクカフェ)名義となっておりますが、実質的に所有していない株式3,900株が含まれております。

2. 「単元未満株式」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義株式52株、自己保有株式84株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンマルクホールディングス	岡山市北区平田173番地104	280,800	-	280,800	2.47
計	-	280,800	-	280,800	2.47

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社子会社である旧株式会社サンマルク(現株式会社サンマルクカフェ)名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,900株あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含めております。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,357,003	9,522,786
売掛金	2,783,485	2,389,273
商品	157	152
原材料及び貯蔵品	247,850	266,479
その他	533,111	520,828
貸倒引当金	16,205	15,040
流動資産合計	13,905,402	12,684,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,692,296	17,695,241
土地	3,087,944	3,087,944
その他(純額)	1,997,143	2,065,007
有形固定資産合計	21,777,385	22,848,193
無形固定資産		
その他	159,671	169,902
無形固定資産合計	159,671	169,902
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,405,928	8,709,237
その他	2,547,610	2,897,066
貸倒引当金	112	112
投資その他の資産合計	10,953,426	11,606,192
固定資産合計	32,890,483	34,624,289
資産合計	46,795,886	47,308,769
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,965,006	1,719,060
未払金	3,380,729	2,464,345
未払法人税等	1,671,343	1,400,806
引当金	45,237	149,132
資産除去債務	1,776	3,738
その他	867,357	1,119,917
流動負債合計	7,931,451	6,857,000
固定負債		
退職給付に係る負債	112,882	122,560
資産除去債務	2,045,554	2,158,971
その他	413,958	288,688
固定負債合計	2,572,395	2,570,220
負債合計	10,503,847	9,427,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,800	3,038,800
利益剰余金	32,741,657	34,322,194
自己株式	1,245,958	1,247,556
株主資本合計	36,265,677	37,844,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,362	36,933
その他の包括利益累計額合計	26,362	36,933
純資産合計	36,292,039	37,881,549
負債純資産合計	46,795,886	47,308,769

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	26,540,510	29,690,902
売上原価	5,918,424	6,494,089
売上総利益	20,622,086	23,196,813
販売費及び一般管理費	17,269,322	19,417,271
営業利益	3,352,763	3,779,541
営業外収益		
受取利息	11,806	5,196
受取配当金	3,736	2,175
受取賃貸料	46,378	56,188
為替差益	5,386	7,831
その他	13,901	8,175
営業外収益合計	81,208	79,569
営業外費用		
支払賃借料	45,175	52,825
その他	14,033	16,139
営業外費用合計	59,208	68,964
経常利益	3,374,763	3,790,146
特別損失		
固定資産除却損	258,815	146,753
減損損失	50,985	18,624
特別損失合計	309,801	165,377
税金等調整前四半期純利益	3,064,961	3,624,768
法人税、住民税及び事業税	1,306,445	1,446,217
法人税等調整額	25,608	12,930
法人税等合計	1,280,837	1,433,287
少数株主損益調整前四半期純利益	1,784,124	2,191,481
少数株主利益	-	-
四半期純利益	1,784,124	2,191,481

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,784,124	2,191,481
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,157	10,571
その他の包括利益合計	8,157	10,571
四半期包括利益	1,775,967	2,202,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,775,967	2,202,052
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,064,961	3,624,768
減価償却費	1,299,883	1,450,538
減損損失	50,985	18,624
賞与引当金の増減額(は減少)	78,429	103,894
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,165	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	9,677
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,126	1,164
受取利息及び受取配当金	15,542	7,372
為替差損益(は益)	5,386	7,831
固定資産除却損	258,815	146,753
売上債権の増減額(は増加)	799,586	394,212
たな卸資産の増減額(は増加)	16,927	18,625
仕入債務の増減額(は減少)	185,374	245,946
未払金の増減額(は減少)	316,009	141,768
その他	119,798	340,522
小計	5,138,260	5,666,283
利息及び配当金の受取額	3,894	2,311
法人税等の支払額	1,173,810	1,717,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,968,344	3,951,382
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,328,194	3,267,596
有形固定資産の除却による支出	385	-
無形固定資産の取得による支出	21,757	41,593
投資有価証券の取得による支出	150,026	93,083
関係会社貸付けによる支出	-	190,000
関係会社出資金の払込による支出	180,000	-
資産除去債務の履行による支出	65,306	34,918
その他	182,362	350,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,928,031	3,977,221
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	2,433	1,598
配当金の支払額	555,016	609,293
ファイナンス・リース債務の返済による支出	329,670	205,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	887,121	816,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,386	7,831
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	158,577	834,216
現金及び現金同等物の期首残高	10,838,993	10,357,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,997,571	9,522,786

## 【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 )

( 1 ) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

( 2 ) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

( 会計方針の変更 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません。

( 追加情報 )

該当事項はありません。

( 四半期連結損益計算書関係 )

1 . 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日 )
給与賞与	6,550,930千円	7,453,538千円
賞与引当金繰入額	121,632	102,201
賃借料	4,154,195	4,642,704

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	10,997,571千円	9,522,786千円
現金及び現金同等物	10,997,571	9,522,786

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	554,936	49.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月13日 取締役会	普通株式	554,911	49.00	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	610,944	55.00	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月13日 取締役会	普通株式	577,605	52.00	平成26年9月30日	平成26年12月10日	利益剰余金



## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	13,910,642	11,428,556	25,339,198	1,201,311	26,540,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	13,910,642	11,428,556	25,339,198	1,201,311	26,540,510
セグメント利益	2,075,456	1,739,133	3,814,590	461,826	3,352,763

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価271,523千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,391,615千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「ファーストフード」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	15,672,459	12,484,748	28,157,208	1,533,694	29,690,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	15,672,459	12,484,748	28,157,208	1,533,694	29,690,902
セグメント利益	2,281,723	2,003,478	4,285,202	505,661	3,779,541

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価349,832千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,689,523千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「ファーストフード」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

第2四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	157円54銭	197円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,784,124	2,191,481
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,784,124	2,191,481
普通株式の期中平均株式数(株)	11,324,909	11,107,950

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成26年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

1. 配当金の総額 577,605千円
2. 1株当たりの金額 52円
3. 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成26年12月10日

(注) 平成26年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月14日

株式会社サンマルクホールディングス  
取締役会御中

## 京都監査法人

指定社員 公認会計士 山本眞吾印  
業務執行社員指定社員 公認会計士 高田佳和印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンマルクホールディングスの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンマルクホールディングス及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。